





その瞬、兄弟たちは彼がヨセフであることに付きました。その理由は、彼らは彼を何  
度も目にしていたため、彼の容姿によるものではありませんでした。ヨセフ以外にそ  
の事件の事を知る者はいなかったからです。

“??  
?????????”??????12?90?

彼らは恐怖しました。彼らの去の罪は重大なものでしたし、在の彼らは弱い立にあり  
ました。彼らの目の前に立っているのはもう、小さな美少年ではなく、エジプトの首  
相だったのです。ヨセフは彼の父同、と苦の数々において唯一なる神への服に安を出  
しました。彼は、真の忍耐の中にこそ、慈悲深さと敬虔さの性が秘められていること  
を理解したのです。彼は兄弟たちに目を下ろして言いました。“  
今日あなたがたを、（取り立てて）咎めることはありません。アッラ  
はあなたがたを御赦しになるでしょう。”（クルアン12：92）

ヨセフはすぐに、家族再の画を立てました。彼は兄弟たちが父のもとへと、彼（ヨ  
セフ）の古い衣服を彼のに被せるようみました。彼はそれによって、父の力がると言  
いました。その瞬、老人ヤコブは遙かれた所にいたにもわらず、天を仰ぎ、ヨセフの  
いを感じ取りました。これは、神によって言者ヨセフを通してされた奇です。兄弟た  
ちが到着し、ヤコブのにその衣服を被せると、彼の力は回しました。彼は叫びまし  
た。“

わたしはあなたがたに言わなかったか。あなたがたが知らないことを、わたしはアッ  
ラから（の示で）知っている。”（クルアン12：96）

言者ヤコブの家族は荷物をまとめ、エジプトへと出しました。ヤコブは2人との再が待  
ちきれませんでした。彼らが真っ直ぐとヨセフのもとへと向かうと、彼は高い玉座に  
座っていました。ヨセフは家族に向かい「神の思し召しなら、安全と共にエジプトに  
入りなさい」と言います。

クルアンの第12章「ヨセフ」は、ヨセフ少年がする父にのこを明している面で始ま  
ります。彼は言います。“父よ、わたしは（で）11

